



「スポーツ」による ひとづくり・まちづくり

スポーツの秋です。市民みなさんは、スポーツを楽しんでいますか。10月号は、「スポーツ」への想いを記してみます。

【夏に3人制プロバスケットボールの犬山大会を開催】

3人制プロバスケットボールチーム「S.ONE」が、犬山市をホームに始動しました。そこには、犬山初のプロチームとして、バスケットを通じて犬山市をさらに盛り上げたいし、地域活動などでプロチームを身近に感じてもらい、犬山みなさんの夢や希望のシンボルになりたいと「S.ONE」みんなのアツい想いがあります。

また東京オリンピックから正式種目になった3人制バスケットの考え

が実に面白いのです。5人制バスケットと違って、場所を選ばず、コートもゴールも外に設営します。野外スポーツです。それは、お客さんが近くでスピードと迫力を感じてもらうためです。その想いと魅力を「カタチ」にするため、犬山城の入口となる「犬山城前広場」を使って、犬山初のプロチームによる公式大会を開催しました。地域のみなさんや犬山のみなさん、観光客のみなさんで大いに楽しみました。全国から多くのチームが集い、これから発展定着していく可能性と潜在力を感じました。

【どうして、プロの大会を誘致したのか。】

犬山市には「スポーツコミッション」という組織があります。スポーツコミッションとは、「スポーツイベントや合宿」、「スポーツツーリズム」などに取り組み、スポーツによって犬山の人だけでなく、他県や他国の人も呼び込んで、地域活性化や地域経済への貢献を目指していくための組織です。でも、その役割が果たせてお

らず、スポーツは犬山の弱みの一つでもありました。そこで、3人制バスケットの特性とチーム「S.ONE」のアツい想いを起点に、犬山スポーツコミッションで犬山のスポーツの成長とまちの活性化につなげていきたいと考え、犬山大会の実現につながりました。

【まだまだ動いていきます。】

11月3・4・5日には、「全国軟式野球プライド・ジャパン」による少年野球の全国大会が犬山市で開催されます。この大会は、野球だけではなく犬山市の魅力を同時に体感してもらうスポーツツーリズムを取り入れた初めての試みです。参加者みなさんには、市内の宿泊施設で泊っていただき、試合のない時間で犬山の観光をしてもらい、地域交流を楽しんでいただきます。

少年野球大会の他にも動きがあります。よき報告ができるよう取り組みます。

スポーツによるひとづくり・まちづくりで犬山を前に進めます。